

## <参考1> 環境省が提案する水との新しい向き合い方「WaterStyle」

環境省では、水の循環を、水を「～守り育て、贈り使い、大切に還す～」という3つのキーワードで表現し、それぞれがしっかり支えていくことを「JAPAN Water Style」として、民間企業や地方公共団体へ提案し、これに賛同する民間企業や地方公共団体は、事業活動や環境活動を通じて、3つの分野に関する取組を促進していくとともに、「JAPAN Water Style」を支える国民へ向けて商品やサービスを通じた様々な「WaterStyle」を提案しています。

「WaterStyle」とは、一人一人が水循環の一員であることを認識し、正しい知識をもって、より大切により楽しく、水を積極的に取り入れて水を楽しむ、新しい水との向き合い方です。

企業から提案される様々な商品やサービスを直接目にし、手で触れながら「WaterStyle」を認識し、楽しみながら毎日の生活に「WaterStyle」を取り入れることを企業とともに推進しています。



## <参考2> ウォータープロジェクトとは

環境省では、平成26年8月1日（水の日）に、「水循環基本法」（同年7月施行）に基づき、健全な水循環の維持又は回復を目的とした取組の促進等を推進する官民連携プロジェクト「ウォータープロジェクト」を発足しました。（同年12月より本格始動）

ウォータープロジェクトでは、水循環や水環境の保全に向けた民間企業による自発的・主体的取組を促進していくとともに、官民連携の機会を創出しています。

現在（平成27年7月17日現在）、103の民間企業、地方公共団体、民間団体がプロジェクトに参加しています。



**Water Project**  
今こそ考えよう。みんなの水と未来。